

eco サポート

(公財)山口県ひとつづくり財団
環境学習推進センター情報誌 第40号

- 01 第一回環境学習講演会レポート
環境学習講座レポート①
- 02 環境学習講座レポート②
環境学習講座のお知らせ
- 03 第一回希少野生動植物種保護支援員研修会
やまぐち自然共生ネットワーク会員募集
- 04 山口「環境絵日記」入賞者作品
環境学習功労者表彰
環境学習推進センターからのお知らせ

平成30年度 第1回環境学習講演会を開催しました！

12月9日、政府の審議会等で活躍されている東京理科大学の橘川教授をお招きして、「21世紀の環境とエネルギーを考える」と題して、環境学習講演会を開催しました。

講演では、世界の人口は70億人以上で、そのうち約10億人は、飢餓状態にある。現在の最大の死亡原因は「飢餓」であり、この問題を解決するためには、石油や石炭などの化石燃料をもっと使って、生活が豊かになる必要がある。

もう一つの問題は、「地球温暖化」で、3年前のパリ協定において、産業革命の前に比べて気温上昇を2℃以下に抑えることが決まったが、そのためには、化石燃料の使用を抑制せざるを得ない。

「飢餓」と「地球温暖化」の二つの危機への対応が矛盾していることが、人類が直面している最大の問題であると話がありました。

この矛盾した危機を同時に解決するためには、①省エネの推進と②温室効果ガスを出さないエネルギーの使用しかないとして、「省エネの方向性」から、「再生可能エネルギーの導入の課題」、「政府の電源ミックスの問題点」、さらには「原子力政策」まで幅広く解説されました。

また、山口県内には水素を多く発生させる電気分解工場があることから、水素と二酸化炭素からメタンを合成するメタネーションという技術を活用する取組を進めるなど、「山口から日本の未来を変える」ことを期待したいとの提案もなされました。

難しいテーマでしたが、講師の幅広い学識と豊富な経験に基づいた丁寧な講演内容で、参加された方にとって、環境やエネルギーについて考えるきっかけづくりとなる有意義な講演会でした。



環境学習講座を開催しました！

当センターが開催した環境学習講座をご紹介します。

家庭ごみの行方を見よう！

【第1回】可燃ごみ系 【第2回】不燃ごみ・資源物系

第1回 10月3日(水) 9:00~17:00

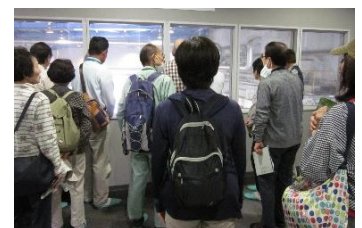
第2回 10月11日(木) 9:00~17:00

日常生活において生じる家庭ごみの処理やリサイクルについて学び、3Rの推進について理解を深めることを趣旨とした環境学習講座を開催しました。

第1回(10/3)は、家庭から排出される可燃ごみが燃焼処理される行程や、焼却して生じる焼却灰が埋め立てられることなくセメントの原料としてリサイクルされる工程を見学し、山口県独自の焼却灰リサイクルシステムについて系統的に学習しました。

第2回(10/11)は、容器包装家庭ごみが分別され、系統だってリサイクルされる工程や、プラスチック製容器包装をプリンターやハンガーなどの材料としてリサイクルする企業の取り組みなどについて学習しました。

参加者からは「セメント原料化への処理方法」や「ブラックアウトへの対応」などの質問や「機械ではなく人による長時間の危険な廃棄物の仕分け作業を見学して、家庭での分別の重要性を再認識した」などの感想が寄せられました。



夏休みエコ合宿

【第1回】めざせ！ごみ・リサイクル博士

第1回

8月16日(木)・17日(金)

場所：山口県セミナーパーク
 山口市不燃物中間処理センター
 山口市清掃工場 山口市リサイクルプラザ
 山口市大浦一般廃棄物最終処分場
 (株)広島企業宇部テクノリサイクルセンター

【第2回】めざせ！エネルギー博士

第2回

8月23日(木)・24日(金)

場所：山口県セミナーパーク
 中国電力(株)新小野田発電所
 長州産業(株)

山口県セミナーパークに宿泊して、環境について学ぶ「こども環境学習講座・夏休みエコ合宿」を2回開催しました。

今回は、「地球温暖化対策」として、やまぐち教育支援センター職員の指導のもと、化学実験室において、二酸化炭素の性質、地球温暖化の原因等に関する講義や実験を行った後に、1回目は、廃棄物処理とリサイクル関連施設、2回目は発電所と太陽光発電関連設備工場を見学しました。

最後のまとめとして子ども達が制作した壁新聞には、地球温暖化の仕組みや対策などの学習成果に加え、地球温暖化防止に向けた、学校や家庭などでの身近な取組への決意も書かれていました。



山口ゆめ花博

自由に楽しく作ってみよう 木の実のクラフト

9月29日(土)、山口ゆめ花博会場で、環境学習体験イベントを開催しました。

木や花など自然に触れ合う機会の少ない子ども達に木や森への興味を持たせ、自然を大切にすることを目的として、森林インストラクター山口会にご協力いただき、親子でドングリなどの木の実をホットボンドで接着し、自由に家や動物などの工作をしました。

木の実の形状を生かし、自分の思いのままに形成することを大切にして工作してもらい、様々な形や色の木の実を目の前を見ると次々とアイデアが浮かんで来るのか、子ども達の自由な発想力から生まれた作品には、感心させられるものがありました。



参加者募集

親子で学ぼう！

3/10(日)

ニホンアワサングの
保護活動

申込締切
2月22日(金)

参加対象：県内の小学生とその保護者 30人程度

参加費：無料(昼食各自)

場所：東和総合センター、なぎさ水族館(周防大島町)

内容：○ 講演「瀬戸内海的环境について学ぶ
～アワサングの調査・保護活動を通して～」
講師：環境省委嘱 自然公園指導員 藤本 正明 氏

○ なぎさ水族館見学
ニホンアワサングをはじめとする周防大島近海の水生生物についての学習

周防大島南沖で発見された日本最大級のニホンアワサングの群生地での調査・保護活動などについて学び、自然の大切さについての理解を深めます。

平成30年度 第1回 希少野生動植物種保護支援員研修会

開催日 10月28日(日) 10:00~15:00

場 所 錦ふるさとセンター、
オオサンショウウオ保護施設

「日本オオサンショウウオの会」会長の桑原博士と「錦川流域ネット交流会」の白井代表世話人に講師をお願いして研修会を開催しました。桑原博士からは広島市安佐動物公園在籍中の長年の調査・研究で、オオサンショウウオは、「ヌシ」とよばれる特別大きな雄が、産卵用巣穴を守って子育てしていることを解明し、世界初のオオサンショウウオの人工繁殖に成功したことや、この経験をもとに、河川に人工巣穴を設置して繁殖を支援する取組などが進められており、西日本各地で取り組まれている保護活動が、地域の活性化に繋がっていることなどについて話がありました。

白井代表世話人からは、オオサンショウウオは、昔から、宇佐川で確認されていたが、特別天然記念物のため触ることもできず、関心が少なかったが、やせ細ったオオサンショウウオが発見され、緊急保護が始まったこと、また、宇佐川上流にいるオオサンショウウオが下流で発見されるようになったのは、大雨の後に、上流にもどれないためと考えられ、保護施設で回復した個体を上流に放流していることなどについて話がありました。

宇佐川オオサンショウウオ保護施設の見学では、緊急保護として、一匹ずつ水槽に入れられた数十匹のオオサンショウウオを間近に観察しながら、生態・飼育状況などについての説明を受けました。



やまぐち自然共生ネットワーク新規会員募集!

「やまぐち自然共生ネットワーク」は、山口県の自然環境をさらに豊かにして後世に引き継ぐことを目的として、山口県内において自然に関わる活動をしている団体及び個人がネットワークを形成し相互の情報交換や自然の保全等の活動を強化し、より一層促進するため設立されました。

自然に関するあらゆる分野の活動団体(自然環境保全、野生生物保護、自然観察、自然環境教育、里地里山活動、森林保全、登山・カヌー等の野外活動、エコツーリズム、観光、子どもの健全育成、河川・海岸等の美化清掃等)及びこれらの活動に参加しようとする団体・個人を対象に、全県的なネットワークを形成し、広く情報交換や活動等の連携を図り、「人と自然のふれあう魅力あるやまぐち」をつくらせていきたいと活動しています。

活動

- 総会、交流行事、
- 年1回のリレーミーティング
(団体や個人の交流会、活動発表、体験学習会)等の開催
- 会報誌の発行等

会費

1口1,000円
個人会員：1口以上
団体会員：2口以上

自然に興味がある方(県内外問いません)、「やまぐち自然共生ネットワーク」の活動に参加して、交流の輪を広げませんか。



山口県自然保護課

検索

TEL 083-933-3060

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15600/index/>



山口「環境絵日記」コンテスト入賞作品

山口「環境絵日記」コンテストに116作品の応募がありました。入賞者と作品をご紹介します。

最優秀賞

低学年の部



「自ぜんのすずしさとリサイクル」

林 皇秀さん

防府市立華城小学校3年

高学年の部



「海を守っていこう」

吉永 羽那さん

防府市立華城小学校4年

優秀賞

低学年の部

「一日の温度を調べてみて」

秦 史菜さん

防府市立華城小学校2年

「富士山をそっじする人々」

二家本 建琉さん

周南市立勝間小学校3年

高学年の部

「みんなのきれいな海」

林崎 莉子さん

防府市立華城小学校6年

「プラスチックゴミの行き先は…」

林 真菜歌さん

上関町立上関小学校4年

おめでとうございます

平成30年度 山口県環境学習功労者表彰受賞者

表彰式 平成29年11月13日
(県庁職員ホール)

- 環境パートナー 村本 禎子さん
- 環境パートナー 徳永 浩之さん

長年の環境学習指導者の功績が認められ、環境学習功労者として知事表彰を受賞されました。

当センターが「地域ESD活動推進拠点」に登録されました



世界には、環境、貧困、人権、平和、開発など様々な問題があります。ESDは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出して、持続可能な社会づくりをめざす学習や教育です。

文部科学省と環境省は、ESDの推進を進めており、環境省中国四国地方事務所の要請を受けて、当環境学習推進センターが、昨年10月、「地域ESD活動推進拠点」に登録されました。

県内の環境活動団体や環境学習関連施設の多くは、すでに「ESDの視点を取り入れた環境学習」に取り組んでおられますが、皆様における環境学習を支援する「ハブ」としての当センターのこれまでの機能に加え、今後は、全国のESD関連情報の入手や提供など、県内におけるESDの推進についてもサポートしてまいりますので、お気軽にご相談ください。

お知らせ

ホームページの申込フォームから、講座のお申し込みができるようになりました!

従来の郵送・FAXでのお申し込み方法に加え、昨年11月からホームページの申込フォームで直接申込が可能になりました。ぜひ御活用ください!

発行元
(公財)山口県ひとつづくり財団
県民学習部 環境学習推進センター

〒754-0893 山口市秋穂二島1062(山口県セミナーパーク内)

TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720

E-mail kankyo.c@hito21.jp

URL http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/



フェイスブックも
よろしくお願ひします

